

## Azure アーキテクトの役割 (AZ-301)

2018 年 5 月に、Azure ソリューション アーキテクトの役割に関するジョブ タスク解析 (JTA) が実施されました。その結果、JTA は Azure ソリューション アーキテクトの主なタスクを特定しました。これらのタスクは、Azure ソリューション アーキテクトの役割の定義に基づいています。

受講者にこの役割の対象となる領域と対象にならない領域がある理由を尋ねられた場合は、この役割の定義を説明してください。Azure DevOps、Azure Developer、Azure Administratorなど、他にも役割があることを覚えておいてください。

Azure ソリューション アーキテクトは、関係者にアドバイスを提供し、ビジネス要件を安全、スケーラブルかつ信頼性の高いソリューションに変えます。

Azure ソリューション アーキテクトは、ネットワーク構築、仮想化、ID、セキュリティ、ビジネス継続性、障害復旧、データ管理、予算作成、ガバナンスなど、IT 運用のさまざまな側面で高度な経験と知識を持っています。この役割では、各領域における意思決定がソリューション全体に与える影響を管理する必要があります。

Azure ソリューション アーキテクトは、Azure 管理、Azure 開発、DevOps に精通しており、これらのドメインの少なくとも 1 つで専門家レベルのスキルを持っている必要があります。

## 認定試験

認定試験では、職務に対する特定の技術的なタスクを遂行する能力を測定します。学習範囲は、その役割のために実施された JTA に基づきます。

各学習範囲には、試験の領域の相対的な重みを示すパーセンテージがあります。パーセンテージが高いほど、受講者がその領域で目にする質問が多くなります。

次の学習範囲とパーセンテージの重み付けを持つ認定試験が 1 つあります。

### AZ-301: Microsoft Azure Architecture Design

学習範囲	パーセンテージ
ワークロード要件の決定	5 ～ 10%
ID とセキュリティのための設計	15 ～ 20%
データ プラットフォーム ソリューションの設計	15 ～ 20%
ビジネス継続性戦略の設計	5 ～ 10%
デプロイ、移行、統合のための設計	20 ～ 25%
インフラストラクチャ戦略の設計	20 ～ 25%

## Azure ソリューション アーキテクト テクノロジ コース

4 つの Azure Architecture Design コースは、認定試験と学習範囲の準備を支援するために調整されています。たとえば、AZ-301 には 6 つの学習範囲があり、4 つの Azure Architect コースがあります。

### AZ-301: Microsoft Azure アーキテクチャ設計



## プログラムの提供

Azure Architect コースは、さまざまな方法で提供できます。

- **個別。** コースはスタンドアロンで教えることができます。ただし、Azure に関するある程度の基礎情報が必要です。この情報については、「サブスクリプションとリソース」コースをご覧ください。
- **認定の準備。** コースは、各認定試験の準備をサポートするためにまとめることができます。
- **掘り下げた情報。** コースを組み合わせることで、範囲に対してより完全な掘り下げた情報を提供できます。たとえば、「仮想ネットワークの構成と管理」を「高度な仮想ネットワーク構築」と組み合わせることができます。もう 1 つの例は、「ID の管理」と「セキュリティで保護された ID」を組み合わせる方法です。

- **カスタム。**コース モジュールをグループ化して、まったく新しいコースやワークショップを作成できます。たとえば、他のコースのトラブルシューティング コンテンツを組み合わせ、**「サブスクリプションとリソース」**の Azure Monitor モジュールからトラブルシューティング コースを作成できます。

## コースの設計

これらのコースは、認定の学習範囲をサポートするように設計されていますが、コンテキストと仕事のスキルを提供するためにその他のコンテンツも提供されています。たとえば、モノのインターネット (IoT) に関するトピックは、テスト ドメインに存在しない場合でも含まれています。これは、Azure ソリューション アーキテクトがこれらの機能について知っている必要があるためです。

### ID とセキュリティのための設計 (AZ-301T01)

このコースには、次の 2 つのモジュールが含まれています。

#### モジュール 1 - Azure ソリューションのセキュリティと ID の管理

このモジュールでは、Azure のコンテキスト内でセキュリティと ID の両方について説明します。セキュリティについては、このモジュールでは、セキュリティを監視するためのさまざまなオプション、データの保護に使用できるオプション、およびアプリケーション シークレットを保護するためのオプションについて確認します。

ID については、特に Azure Active Directory (Azure AD) と、多要素認証 (MFA)、マネージド サービス ID、Azure AD Connect、ADFS、Azure AD B2B/B2C などのさまざまな機能に焦点を当てます。

このモジュールには、「*Azure* でシークレットを保護」というタイトルのハンズオン ラボが含ま

れています。このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります：

- Azure AD B2B または B2C を使用して、既存のソリューションを外部 ID プロバイダーと統合できます。
- ハイブリッド ID ソリューションを設計できます。
- マネージド サービス ID、MFA、Privileged Identity Management など、Azure AD の高度な機能を使用するタイミングを決定できます。
- Key Vault を使用してアプリケーション シークレットを保護できます。
- SQL データベースと Azure Storage 機能を使用してアプリケーション データを保護できます。

## モジュール 2 - Azure プラットフォームで利用できる SaaS サービスの統合

このモジュールでは、既存の Azure ソリューションに統合できる、Azure で利用可能な複数の SaaS サービスを紹介します。これらのサービスには、Cognitive Services、Bot Service、Machine Learning、Media Services が含まれます。

このモジュールには、「*Azure プラットフォームで利用可能な SaaS サービスの統合*」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります：

- Cognitive Services で使用できるさまざまな API について詳しく説明します。
- Face API、Speech API、Language Understanding (LUIS) サービスを使用するタスキミングを特定します。
- Bot Framework と Azure Bot Services との関係について説明します。
- QnA Maker を使用して単純なボットを作成します。
- Azure Machine Learning について説明します。
- Azure Media Services について説明します。
- ライブ ストリーミング、動的パッケージング、静的変換などの Media Services のワークフローについて説明します。
- Computer Vision API の使用方法について詳しく説明します。

## データ プラットフォーム ソリューションの設計 (AZ-301T02)

このコースには、次の 3 つのモジュールが含まれています。

### モジュール 1 - Azure Storage での Azure ソリューションのバックアップ

このモジュールでは、Azure の他のアプリケーション ソリューションのバックアップ ストアとして Azure Storage サービスを使用する Azure サービスの数について説明します。このモジュールでは、Azure Storage をすべての Azure ソリューションの補足サービスとして使用する場合に、重要な考慮事項について説明します。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができますようになります:

- ソリューションの要件に基づいて Azure Storage の理想的な価格オプションを決定できます。
- Azure Storage サービスのパフォーマンスしきい値を特定できます。
- 特定のソリューション コンポーネントに使用する Storage BLOB の種類を決定できます。
- SMB 操作に Azure Files サービスを使用できます。
- StorSimple 物理デバイスまたは仮想デバイスの使用からメリットを得ることができるソリューションを特定できます。

## モジュール 2 - Azure でのデータベース オプションの比較

このモジュールでは、Azure で使用できるさまざまなリレーショナル データと非リレーショナル データのストレージ オプションを比較します。オプションについては、リレーショナル データベース (Azure SQL Database、MySQL、Azure の PostgreSQL)、非リレーショナル (Azure Cosmos DB、ストレージ テーブル)、ストリーミング (Stream Analytics)、ストレージ (Data Factory、Data Warehouse、Data Lake) などのグループとして説明します。

このモジュールには、「*Azure* でのデータベース インスタンスのデプロイ」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。このモジュールを修了すると、受講者は次のことができますようになります:

- Azure 上のさまざまなデータベース オプションを比較して対比できます。
- 大規模なデータ インジェスト用のデータ ストリーミング オプションを特定できます。
- 長期的なデータ ストレージ オプションを特定できます。

## モジュール 3 - Azure ソリューションの監視と自動化。

このモジュールでは、Azure ソリューションの作成、設計、およびデプロイが行われた後に使用できる監視および自動化ソリューションについて説明します。このモジュールでは、個々のアプリケーション、Azure プラットフォーム、およびネットワーク化されたコンポーネントの監視に使用されるサービスを確認します。また、このモジュールでは、Azure でホストされているソリューションのビジネス継続性シナリオを有効にするための自動化およびバックアップ オプションについても説明します。

このモジュールには、「*Azure* への構成管理ソリューションのデプロイ」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります：

- アプリケーション、Azure プラットフォーム、ネットワーク構築用の監視サービスを比較して対比できます。
- Azure でホストされているソリューションのアラート スキームを設計できます。
- Azure でホストされるインフラストラクチャとデータに適したバックアップ オプションを選択できます。
- バックアップのリカバリまたはスケーリングを目的とした将来のリソースのデプロイを自動化できます。
- ソリューションの要件に基づいて Azure Storage の理想的な価格オプションを決定できます。
- Azure Storage サービスのパフォーマンスしきい値を特定できます。
- 特定のソリューション コンポーネントに使用する Storage BLOB の種類を決定できます。
- SMB 操作に Azure Files サービスを使用できます。
- StorSimple 物理デバイスまたは仮想デバイスの使用からメリットを得ることができるソリューションを特定できます。
- アプリケーション、Azure プラットフォーム、ネットワーク構築用の監視サービスを比較して対比できます。
- Azure でホストされているソリューションのアラート スキームを設計できます。
- Azure でホストされるインフラストラクチャとデータに適したバックアップ オプションを選択できます。
- バックアップのリカバリまたはスケーリングを目的とした将来のリソースのデプロイを自動化できます。

## デプロイ、移行、統合に向けた設計 (AZ-301T03)

このコースには、次の 3 つのモジュールが含まれています。

### モジュール 1 - Azure Resource Manager を使用したリソースのデプロイ

このモジュールでは、Azure Resource Manager の基本的な理解と、デプロイ、リソース、テンプレート、リソース グループ、タグの中核的な概念を確立します。このモジュールでは、ARM テンプレートを使用したリソースの自動デプロイについて詳しく説明します。

このモジュールには、「Azure Resource Manager のテンプレートと *Azure Building Blocks* の導入」というタイトルのオンライン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります:

- リソース グループを作成できます。
- リソース グループにリソースを追加できます。
- ARM テンプレートをリソース グループにデプロイできます。
- タグを使用してリソースをフィルター処理できます。
- Azure Building Blocks ツールを使用して複雑なデプロイを作成できます。

## モジュール 2 - Azure での管理対象サーバー アプリケーションの作成

このモジュールでは、ソリューションが Azure でのサーバーレス アプリケーションのホスティング サービスを活用し、

特定のサーバー リソースを管理する必要なく、Web アプリ、REST API、統合ワークフロー、HPC ワークロードをホストする方法について説明します。このモジュールでは、Web Apps、API Apps、Mobile Apps、Logic Apps、Functions などの App Services 関連コンポーネントに焦点を当てています。

このモジュールには、「*Azure へのマネージド コンテナ化されたワークロードのデプロイ*」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります：

- App Service インスタンスでアプリケーション コードまたはコンテナのホストを選択できます。
- API Apps、Mobile Apps、Web Apps の違いについて説明できます。
- API または Logic App を API Management サービスと統合できます。
- 高いパフォーマンスとスケールを実現するために、App Service Plan またはマルチリージョンのデプロイを設計できます。

## モジュール 3 - Azure でのサーバーレス アプリケーションの作成

このモジュールでは、ソリューションが Azure でのサーバーレス アプリケーションのホスティング サービスを活用し、特定のサーバー リソースを管理する必要なく、Web アプリ、REST API、統合ワークフロー、HPC ワークロードをホストする方法について説明します。このモジュールでは、Web Apps、API Apps、Mobile Apps、Logic Apps、Functions などの App Services 関連コンポーネントに焦点を当てています。



このモジュールには、「*Azure* へのサーバーレス ワークロードのデプロイ」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります:

- App Service インスタンスでアプリケーション コードまたはコンテナのホストを選択できます。
- API Apps、Mobile Apps、Web Apps の違いについて説明できます。
- API または Logic App を API Management サービスと統合できます。
- 高いパフォーマンスとスケールを実現するために、App Service Plan またはマルチリージョンのデプロイを設計できます。
- リソース グループを作成できます。
- リソース グループにリソースを追加できます。
- ARM テンプレートをリソース グループにデプロイします。API または Logic App を API Management サービスと統合できます。
- 高いパフォーマンスとスケールを実現するために、App Service Plan またはマルチリージョンのデプロイを設計できます。
- API または Logic App を API Management サービスと統合できます。
- 高いパフォーマンスとスケールを実現するために、App Service Plan またはマルチリージョンのデプロイを設計できます。

## インフラストラクチャ戦略の設計 (AZ-301T04)

このコースには、次の 4 つのモジュールが含まれています。

### モジュール 1 - Azure のアプリケーション アーキテクチャ パターン

このモジュールでは、Microsoft Patterns & Practices チームが規定する一般的な Azure パターンとアーキテクチャを紹介し、確認します。各パターンは、パフォーマンス、回復性、スケーラビリティのカテゴリにグループ化され、カテゴリ内の類似パターンのコンテキストで説明されます。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができますようになります：

- クラウド設計パターンのドキュメントを探して参照できます。
- Azure アーキテクチャ センターを探して参照できます。
- クラウド設計パターンから引き出されたさまざまなパターンについて説明できます。

### モジュール 2 - Azure IaaS ベースのサーバー アプリケーション (ADSK) の構築

このモジュールでは、Azure のサービスとしてのインフラストラクチャ サービスを使用して理想的にデプロイされるワークロードを特定します。モジュールでは、Azure の仮想マシン スケール セットと仮想マシン サービス、および可用性セットなどのベスト プラクティスと機能を使用して、これらのサービスにワークロードを最適にデプロイする方法について焦点を当てています。

このモジュールには、「*Azure ARMテンプレートと Azure Building Blocks を使用した Azure IaaS ベースサーバーアプリケーションの構築*」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができますようになります：

- 1 つ以上の仮想マシンの可用性セットを設計できます。
- 障害ドメインと更新ドメインの違いについて説明できます。
- VM スケール セット ARM テンプレートを作成できます。
- 仮想化されたマシンを Azure またはハイブリッド ネットワークのいずれかのドメインに参加させることができます。

### モジュール 3 - Azure アプリケーション コンポーネントのネットワーク

このモジュールでは、Azure にデプロイされたソリューションで使用できるさまざまなネットワーク構築および接続オプションについて説明します。このモジュールでは、アドホック接続から長期的なハイブリッド接続シナリオに至るまで、接続オプションについて説明します。また、このモジュールでは、複数のコンピューティングインスタンスにまたがるワークロードのバランシング、オンプレミス インフラストラクチャのクラウドへの接続、オンプレミス データ用のゲートウェイの作成に関して、パフォーマンスとセキュリティの懸念事項についても説明します。

このモジュールには、「*Azure ソリューションで使用するネットワーク インフラストラクチャのデプロイ*」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります：

- Azure の VNET の DNS および IP 戦略について説明できます。
- アドホック接続とハイブリッド接続の接続オプションを比較できます。
- ロード バランサーを使用して、複数の負荷にネットワーク トラフィックを分散できます。
- クラウドとオンプレミスのハイブリッド接続シナリオを設計できます。

### モジュール 4 - メッセージング サービスを使用した Azure ソリューション コンポーネントの統合。

このモジュールでは、Azure プラットフォームでホストされているソリューションで使用できる統合サービスとメッセージング サービスについて説明し、比較します。説明されているメッセージング サービスには、Azure Storage キュー、Service Bus キュー、Service Bus Relay、IoT Hub、Event Hubs、Notification Hubs が含まれます。統合サービスには、Azure Functions と Logic Apps が含まれます。

このモジュールには、「*Azure リソース間の通信を容易にするメッセージング コンポーネントのデプロイ*」というタイトルのハンズオン ラボが含まれています。

このモジュールを修了すると、受講者は次のことができるようになります：

- Storage キューと Service Bus キューを比較できます。
- ソリューションの統合コンポーネントに Azure Functions または Logic Apps を使用するタイミングを特定できます。
- IoT Hub、Event Hubs、Time Series Insights の違いについて説明します。

## Azure サブスクリプション

このコースの実践演習を完了するには、受講者は Azure サブスクリプションを必要とします。受講者に Azure へのアクセスを提供する上で推奨される方法は、Microsoft Learning Azure Passes を要求することです。

自分自身と受講者用に [Microsoft Learning Azure Passes](#) を要求できます。クラス開始の少なくとも 2 週間前までに、これらの Pass を要求してください。Pass を受け取った後、各受講者は Pass を有効にする必要があります。

✓ 授業の前に受講者が Pass を有効にすることは非常に重要です。パスの構成に無駄な時間をかけないためです。✓ 演習で Azure Pass を使用することも重要です。Pass は、[一般に利用可能な Microsoft Azure 無料試用版のサブスクリプション](#)と同様に効果的に機能します。これは、Pass で実行できる操作に制限があることを意味します。

## コースの準備

次のセクションでは、コースの主要コンポーネントとクラスでの使用方法について説明します。これには、PowerPoint スライド、モジュール レビューの質問、参考資料のリンク、オンライン ラボ、演習が含まれます。このコンテンツを使用して受講者にとって素晴らしい学習体験を生み出す方法には、非常に高い柔軟性があります。

## コンテンツ

各コースのコンテンツは、小さなトピックに分かれています。各トピック/スライドは、単一の概念に焦点を当てています。たとえば、アクション グループ、リソースのロック、ログ クエリ言語などです。トピックと参考資料のリンクを使用して、各概念を完全に説明します。スライドを読むだけでは、予定されている時間を埋めるのに十分なコンテンツがありません。

## PowerPoint のスライド

PowerPoint のスライドは、コースの指導に役立てるために提供されます。

- 各モジュールは、コース内で別々のファイルを持っています。たとえば、  
<course#>\_01.pptx はモジュール 01 用です。スライドは、受講者の教材を補完するように設計されています。トピックを受講者に提示する方法と、スライドの編成方法を確認する必要があります。スライドをカスタマイズすることで、プレゼンテーションをより面白くすることができます。

## モジュールの確認の質問

モジュールの確認の質問は、各モジュールの最後に記載されています。2 つ～4 つの質問が行われます。これらの質問は、認定試験のレベルではないことに注意してください。自分で選んだ質問で補足することもできます。

このような確認の質問は、いくつかの方法で使用できます。

- コースの開始前に受講者に事前テストを受けさせて、最後に学習した内容を示します。
- グループとして、別のセクションに進む前に質問に取り組みます。
- 適切な資料を使用する際に、コンテンツに質問を散りばめます。

## 参考資料のリンク

コースのコンテンツには、多くの参考資料のリンクが含まれています。この主な理由は、Azure ドキュメントが常に更新されているためです。

- コースを指導する前に、参考資料のリンクを使用して、コンテンツが最新であることを検証してください。機能と制限に注意してください。たとえば、プレビュー機能や仮想マシンのサイズなどです。
- 参考資料のリンクが PowerPoint スライドとメモに追加され、詳細な情報に簡単にアクセスできます。これらのリンクを使用して、コンテンツで説明されていない詳細を順を追って説明します。たとえば、特定のライセンスや価格オプションなどです。また、コンテンツで要約されただけの長いステップもこれに該当します。

ドキュメントと参考資料のリンクの使用方法を決定する必要があります。ドキュメントから教えることは、この一連のコースの新しい概念です。スライド デッキを離れた場合、受講者はどのようにコースに再び集中しますか？

## 実践演習

このコースには、受講者が学習内容を実践するための 2 つの方法があります。Azure ドキュメントと Microsoft オンライン ラボ。

- **Azure ドキュメント。**これらのコースの実践演習のほとんどは、Azure ドキュメント チュートリアルとクイックスタートにリンクしています。Azure ドキュメントのステップは非常に包括的でよく説明されています。前提条件を詳しく読み、各ラボを個人的に試してみてください。

実践演習を使用するためのさまざまな方法があります。

- クラスのデモンストレーションとして、順を追って演習を進めることができます。
- 受講者が演習を行う時間を予定に入れることができます。
- 受講者に演習のさまざまな部分をデモンストレーションしてもらい、グループで進めてもらうことができます。

また、次の点にも注意してください。

- レッスンで選択する演習がいくつかある場合があります。すべてを行うか、対象ユーザーに最も適したものを選択するか、自分自ら一部を見つけたり書き込んだりします。
- 演習は、達成し、何かを学ぶためのすべてのステップを示しています。ただし、日常的な仕事のアーキテクトでは、多くの場合、Azure クイック スタート テンプレートを使用します。これらのテンプレートの一部を使用して、必ず指示を仕上げてください。

## Portal、Cloud Shell、PowerShell、CLI

演習は、最初に Portal に表示されます。Portal は、ほとんどのタスクを説明する最も簡単な方法です。ただし、利用できる場合は、Azure PowerShell または CLI を使用してタスクを完了するための参照リンクが用意されています。

Cloud Shell を使用して、Azure PowerShell または Azure CLI にアクセスすることをお勧めします。Cloud Shell は自動的に Azure に接続し、必要なコンポーネントを構成します。新しいチュートリアルとクイックスタートは、Cloud Shell から始まります。

受講者に PowerShell または CLI をローカルで使用する場合は、クラスの開始時に正しいコンポーネントがインストールされていることを確認する時間をとってください。

- [PowerShellGet を使用して Windows に Azure PowerShell をインストールする](#) (推奨)
- [MSI を使用して Windows に Azure PowerShell をインストールする](#)
- [Windows に Azure CLI 2.0 をインストールする](#) その

他の考慮事項:

- 受講者にどのコマンドライン ツールを使用するかを尋ねて、適切な実践演習を提供します。
- 受講者の認定試験への準備を支援する場合は、常に PowerShell の例を実施する必要があります。認定試験の CLI に関する質問数はごくわずかです。

✓ 「サブスクリプションとリソース」コースでは、一般的な Azure Architect ツールの概要を確認できます。これには、Azure Portal、Azure PowerShell、Cloud Shell、Azure CLI、ARM テンプレートが含まれます。

## グループ ディスカッション

コンテンツを通して、受講者が学んだことを振り返ったり、重要な点を強調したりするのに役立つ質問が含まれています。緑色のチェックマークが表示された場合は、受講者と対話し、ディスカッションに参加してもらう機会があります。この情報は、PowerPoint のノートに記載されています。たとえば、

- ✓ 組織で MFA を実装しましたか? どの認証方法を使用していますか?

## コース コンテンツの重複

コースは個別に教えることができるので、コンテンツの重複があります。コースにかかる時間を適切に見積もるため、重複を考慮に入れることが重要です。

たとえば、RBAC の概念については、最初に「サブスクリプションとリソース」コースで学習します。これは、受講者が管理者アカウントを理解できるようにするためにです。ただし、「ID の保護」コースでも RBAC について説明します。これは、より包括的なコンテンツの説明です。

## コースのタイミング

コースのコンテンツは、1 日で完了するように設計されています。これは、コースの教え方に左右されます。たとえば、受講者は Portal と PowerShell の両方ですべての実践演習を行いますか? 日中にすべてのビデオを再生しますか? それとも、指導の補足としてビデオを使用しますか? トレーナーはコンテンツを柔軟に提示し、指導と実践的な活動のバランスを決定することができます。学習時間の少なくとも半分は実践演習に費やすようにしてください。

ID とセキュリティのための設計	AZ-301T01	1.0 日間
データ プラットフォーム ソリューションの設計	AZ-301T02	1.0 日間
デプロイ、移行、統合の設計	AZ-301T03	1.0 日間
インフラストラクチャ戦略の設計	AZ-301T04	1.0 日間



## リソース

受講生が Azure について学ぶのに役立つリソースはたくさんあります。このようなページをブックマークして、受講生にその一覧を提供することをお勧めします。

- [Azure フォーラム](#)。Azure のフォーラムは非常に活発です。スレッドで特定の対象領域を検索できます。Azure Storage、価格と請求、Azure Virtual Machines、Azure Migrate などのカテゴリを参照することもできます。
- [Azure アーキテクチャ センター](#)：Azure アプリケーション アーキテクチャ ガイド、Azure の参照アーキテクチャ、クラウド設計パターンにアクセスできます。
- [Microsoft Learning Community Blog](#)。認定試験と試験勉強会に関する最新情報を提供します。
- [Channel 9](#)。Channel 9 では豊富な情報ビデオ、ショー、イベントを提供します。
- [Azure Tuesdays with Corey](#)。Corey Sanders が、仮想マシン、Web サイト、モバイル サービス、開発 / テストなどの Microsoft Azure に関する質問に答えます。
- [Azure Fridays](#)。Scott Hanselman が、Microsoft Azure を利用してサービスを構築するエンジニアと 1 対 1 で対話し、機能をデモし、Scott の質問に答えてもらい、分析情報を共有します。
- [Microsoft Azure ブログ](#)。プレビューの内容、一般公開の内容、ニュースや更新など、Azure の最新情報を入手できます。
- [Azure Newsletter](#)。最新の Azure 機能、イベント、コミュニティ アクティビティが通知されます。過去のニュースレターを参照できます。購読すると、最新の Azure ニュースが受信トレイに配信されます。

## 他のユーザーとつながる

[MCT Central](#) – MCT について網羅されています。MCT の最新ニュースを把握したり、今後のイベントについて学んだり、仕事の機会を探したり、世界中の他の MCT とつながったりできます。また、MCT Central フォーラムを通じて、マイクロソフトやその他の MCT のコースウェアや認定資格など、さまざまなトピックについて質問したり、ディスカッションしたりできます。

[MOC Courseware Support](#) – コースに問題がある場合、またはサポート チケットを記録する必要がある場合は、MOC コースの公式サポート チャンネルにお問い合わせください。このチャンネルはサポート エージェントによって監視され、コースのサポート上の問題を記録する最も簡単な方法です。これはコースウェアの公式サポート チャンネルです。